生涯学習関連施設 業務評価シート

地域学習センター　　施設名/足立区鹿浜地域学習センター・図書館・体育館

【評価対象年度】令和7年度　【自己評価】令和8年4月5日　【評価委員会】令和8年8月17日
【評価点】水準を大きく上回る：5点　水準を上回る：4点　水準どおり(水準クリア)：3点
水準を下回る：2点　水準を大きく下回る：1点

大項目	中項目	確認項目		評価点×2		
		協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか(評価点×２)		指定管理者	担当課	評価委員会
1 管理状況	A 適切な管理の履行	1	施設運営業務等が適正に実施されている ◆計画どおりの開館、利用者対応、予約受付　など	5.0 (×2)	4.0 (×2)	21.6 (満点30点)
		2	職員の勤務状況・体制が適切である ◆適正な人員配置　など	3.0 (×2)	3.0 (×2)	
		3	人材育成の取り組み（意識、接遇の向上） ◆定期的な業務実施手順見直し、研修の実施　など	5.0 (×2)	4.0 (×2)	
		指定管理者記入欄	【アピールポイント】 外国人利用者の増加を踏まえ、利用案内の内容を全面的に見直した。やさしい日本語およびアイコンを積極的に取り入れたことで、説明の分かりやすさが向上した。 新システムの円滑な導入に向け、日常業務の見直しとeラーニングシステムの活用を実施した。これにより研修時間を創出し、隙間時間を活用した学習が可能となった。			
			【改善すべき点･課題等】 引き続き、新システムの操作・運用に習熟し、業務の安定化を図る。また、社会の多様化に対応するため、基本的人権に関する研修を計画的に実施し、職員の理解と対応力の向上を図る。			
		区記入欄	【特記事項】項目1について、窓口においてやさしい日本語の窓口用ツールを導入し、外国の方への案内を円滑にさせたことや新システムの研修としてeラーニングシステムを活用したことなどを評価し、水準点に2点加点をする。一方、テニスコート受付業務において手続き上の誤りが発生し、本社及び区を含めた対応を要する事案となったことから、水準点より1点減点とする。項目3について、新システムに向けて研修の実施やマニュアルの作成により人材育成に努めている点を評価して水準点に１点加点をする。			
		評価委員記入欄	【評価すべき点】外国人利用者の増加に対応するため、やさしい日本語の窓口ツール導入などの対策を行い、外国人にとって理解しやすい対応を実現している。また新システム移行に向けた計画的な研修・マニュアル整備など、体制づくりが着実に進められている。 【改善すべき点】テニスコート受付ミスや書類訂正の運用基準の認識不足など、窓口対応の基本に関わるミスが続いた点は改善が必要。手続きの不備防止と職員全体の理解向上に向け、定期的な研修の実施を求める。 【その他注意点】日本人を対象とした安定的な運営業務についても継続を求める。			
		施設の安全性は確保されているか		評価点 指定管理者	担当課	評価委員会
	B 安全性の確保	1	施設・設備の点検が計画通り行われ、不具合等に適切に対応している ◆日常点検、定期点検の実施、不具合発生時の対応　など	3.0	3.0	15.9 (満点20点)
		2	施設・設備の経年劣化に対応している ◆設備状況の把握、改修・修繕提案　など	3.0	3.0	
		3	利用者が快適に利用できるよう、施設の管理が適切に行われている ◆日常清掃、定期清掃の実施、外溝・駐車場の管理　など	5.0	5.0	
		4	危機管理（防災・防犯・事故対応）が適切に行われている ◆防火管理者、防火管理計画、防災訓練の実施、鍵の適正管理 マニュアルの策定と周知　など	5.0	5.0	
		指定管理者記入欄	【アピールポイント】 区民の緑への関心向上を目的として施設外周植木の館内展示を実施した。展示に加え、SNSによる情報発信を行い、関心喚起を図った。 併設施設を含む全館の防災力向上を目的として、防災訓練を動画化した。全員研修の機会が限られる中、動画による学習を導入することで従来の訓練を補完することができた。			
			【改善すべき点･課題等】 改修工事から5年が経過したことを踏まえ、施設内の修繕・劣化箇所を改めて点検・整理し、必要に応じて適切な対応を実施する。 動画等のデジタル教材の作成を継続し、リアルな防災訓練とデジタル学習を組み合わせることで、施設全体としての危機管理体制の構築を図る。			
		区記入欄	【特記事項】項目3について、施設外周の植木を知りたいという利用者からの要望をもとに館内に外周の植木に関するパネル展示を行い、利用者からの反響も大きかった点を評価し、水準点に2点加点をする。項目4について、防災訓練の様子を動画化し、併設施設も含む職員に共有した点を評価し、水準点に2点加点をする。			
		評価委員記入欄	【評価すべき点】利用者の声を反映した植木パネル展示で区民に植物への関心を促し、また訓練の動画化により全職員で防災技能を共有するなど施設の快適性と安全性を高めた。デジタル活用等の創意工夫が効果的であったと評価する。令和6年度発生したトコジラミについて、再発防止の清掃・点検も継続されている。 【改善すべき点】改修工事から5年経過していることも踏まえ、安全管理の意識を継続してほしい。 【その他注意点】			

C 法令等の遵守（※倫理性も含む）	**個人情報保護､各種法令等は遵守されているか**		評価点			
			指定管理者	担当課	評価委員	
	1	個人情報保護の取り組み ◆内部規定の策定、研修の実施　など	3.0	3.0	9.0 （満点15点）	
	2	個人情報事故への対応、適正管理 ◆個人情報に関する事故が発生しなかったか	3.0	3.0		
	3	各種法令等の遵守 ◆労働基準法、公契約条例等の関係法令は遵守されているか	3.0	3.0		
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】 個人情報保護に関する基礎知識の定着を図るため、年2回のテストを実施している。新規雇用アルバイトについては随時個別研修を行い、適切な個人情報保護の運用を徹底している。名簿は原則として持ち出しを禁止し、やむを得ず持ち出す場合は氏名をカナ表記の苗字のみとするなどの工夫を講じている。				
		【改善すべき点･課題等】 業務効率化や利用者サービス向上のために、令和8年度に生成AIを活用するにあたり、個人情報保護や著作権法など関連法令を踏まえた運用ルールの明確化を進める。同時に適切な利用範囲・判断基準・リスク管理手順を整備し、研修を通じて理解を図る。				
	区記入欄	【特記事項】個人情報保護に関するテストを定期的に実施し、日常業務内でも個人情報の取り扱いを徹底している点を評価する。				
	評価委員記入欄	【評価すべき点】個人情報保護、各種法令等は遵守されている。 【改善すべき点】受講者名簿などの個人情報の持ち出しについて、更なる個人情報保護の工夫を求める。 【その他注意点】				
D 適切な財務・財産管理	**適切な財務運営・財産管理が行われているか**		評価点			
			指定管理者	担当課	評価委員	
	1	適正な財政状況及び経理処理を行っている ◆令和7年度収支（2,840千円） ◆経理の明確な区分、経理担当者の配置、帳簿、関係書類の整備　など	3.0	3.0	3.0 （満点5点）	
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】 施設・講座収入や小口現金は職員2名で必ずダブルチェックを行い、経理担当が全体を確認したうえで、最終的に責任者が点検する体制を整えている。				
		【改善すべき点･課題等】 物価上昇が継続する状況を踏まえ、事業運営に必要な経費を精査し、適切な収支管理に努める。また掲示物や会議資料のデジタル化を推進し紙使用量の削減に努め、コスト削減を図る。				
	区記入欄	【特記事項】経理業務に関して、複数人でのチェックを徹底し、問題なく健全な財務管理がなされている点を評価する。				
	評価委員記入欄	【評価すべき点】財務に関する点検業務について、適切に行われている。ダブルチェックによる効果を継続してほしい。 【改善すべき点】施設管理運営に関して、必要費用の精査を徹底してほしい。 【その他注意点】				

大項目	中項目	確認項目				
2 事業効果	A 学習事業の取り組み	**仕様書や事業計画に沿った学習事業が提供されているか**		評価点 指定管理者	担当課	評価委員
		1	利用促進に向けた取り組み（広報・PR等） ◆ホームページ、ＳＮＳ、ミニコミ紙の充実、外部媒体の活用 など	5.0	5.0	15.7 （満点20点）
		2	A型事業（基本的な生涯学習事業）の企画・実施・成果 ◆Ａ型事業の企画・実施・成果	3.0	3.0	
		3	B型事業（重点事業）の企画・実施・成果 ◆B型事業の企画・実施・成果	5.0	5.0	
		4	C型事業（拡張事業）の企画・実施・成果 ◆C型事業の企画・実施・成果	3.0	3.0	
		指定管理者記入欄	【アピールポイント】 体育館の個人利用に関する問合せの増加を受け、HPの発信ページを二次元コード化しアクセス性を向上させた。その結果、アクセス数が増加した。高校受験生応援団の特別版として、参加者から要望の多かったマナーに関する事業を実施し、「社会に出ても役立つ内容」等のご意見を頂いた。受付方法が煩雑であった事業「おしごとらんど」について、オンライン受付フォーマットを導入し、手続きの簡素化を図った。導入後、利用者からの困難の声は確認されなかった。デフリンピックに向けた機運醸成を図るため、パラスポーツ体験機会の拡大に取り組んだ。当館の特徴である広いエントランスを活用した事業を実施した結果、多くの参加を得ることができた。			
		指定管理者記入欄	【改善すべき点･課題等】 子ども向けスポーツ講座の参加者が減少傾向にあることから、子育て世代へのアプローチを強化する。本格的な科学講座であるロボットスポーツや小学生向け科学教室「しかラボ」をさらに発展させるとともに、料理講座については親子で参加できる内容へと再構成し、参加促進を図る。 令和7年度新規事業である、トレーニングルーム講師による講座やカリグラフィ講座など、事業の定着と参加者拡大を図る。			
		区記入欄	【特記事項】項目1について、体育館個人利用に関するHPの二次元コードを館内に掲示し、ページへのアクセス数を増加させ広報拡大につなげた点を評価し、水準点に2点加点をする。項目3について、エントランスホールでパラスポーツに関する事業を複数回開催し、集客につなげている点を評価し、水準点に2点加点をする。			
		評価委員記入欄	【評価すべき点】二次元コードの活用によりHPアクセス数を約2倍に伸ばし、広報拡大と体育館個人利用を促進した。また受付の申請フォーム化といった取り組みにより、利用者の利便性向上と円滑な施設運営を実現している。事業についてもエントランスでのパラスポーツ体験講座など、参加者増につながる事業が積極的に行われている点を評価する。 【改善すべき点】子供向けスポーツ講座参加者減少について対策に期待する。 【その他注意点】			
	B 学習支援の取り組み	**施設・地域特性に配慮し、適切な学習支援を行っているか**		評価点 指定管理者	担当課	評価委員
		1	生涯学習コーディネート、サークルや個人利用者への支援の実施・成果 ◆学習相談、支援事業の実施、発表の場の提供・拡充　など	5.0	4.0	12.0 （満点15点）
		2	区内施設、団体との連携 ◆地域団体、区内施設との連携　など	3.0	3.0	
		3	地域特性の配慮、人材の活用 ◆区内人材活用、地域資源の発掘、ボランティア活用　など	5.0	5.0	
		指定管理者記入欄	【アピールポイント】 利用者懇談会の見直しに加え、図書館内でサークル成果物の展示を実施し、サークル支援を推進した。また、サークルから寄せられた多数の意見を踏まえ、土足禁止エリアの見直しを行い、利便性の向上を図った。「ヨガ」講座の参加者から、自身のスキルを活用した講座開催の申し出があり、初の開催を支援するとともに講師育成を行った。3年目となるラジオ体操事業において、参加者へ協力を呼び掛け、受付等のボランティア参加を得た。今後も区民主体による学習・スポーツを推進する。			
		指定管理者記入欄	【改善すべき点･課題等】 フリースペースの利用者数は年々増加傾向にあり、居場所としてのニーズが高まっている。こうした状況を踏まえ、令和8年度は子育て世代に向けた居場所づくり事業を重点的に推進する。 複合施設が令和8年度に設立40周年を迎えるにあたり、住区センターや登録団体と連携し、ふれあいまつりをはじめとする大型イベントの充実と盛り上げを図る。節目の年として地域とのつながりを強化し、記念性の高い事業展開を進める。			
		区記入欄	【特記事項】項目1について、サークル活動周知のために新たな展示場所を開拓して会員数増加につなげた点を評価し、水準点に1点加点をする。項目3について、区民講師による新規事業を開催し、地域の人材活用に取り組んだ点を評価し、水準点に2点加点をする。			
		評価委員記入欄	【評価すべき点】区民ボランティアや区民講師の発掘・活用、図書館でのサークル展示支援など、地域人材を活かした主体的な参画の拡大と事業の展開を評価する。 【改善すべき点】 【その他注意点】ラジオ体操の取り組みについて、全世代に広がるよう創意工夫を期待する。			

			評価点		
C 図書館事業の取り組み	**仕様書や事業計画に沿った図書館事業が提供されているか**		指定管理者	担当課	評価委員
	1	図書館の館内配置の工夫やPR活動の企画・実施・成果 ◆館内配置の工夫、レファレンスサービスの企画・実施・成果　など	5.0	5.0	10.0 （満点10点）
	2	読書推進活動の企画・実施・成果 ◆読書推進活動、連携事業の企画・実施・成果　など	5.0	5.0	
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】 令和6年度のトコジラミ発生による来館者減少に対し、センター連携の大型イベントと通年の館内イベントで来館を促進した。特に減少した子育て世代へは、赤ちゃんおはなし会参加者座談会や子育て世代の施設づくりサポーターから得た声を反映し、テントやクッションなど滞在を楽しむ場づくりを実施。また「ちょこっとパック」導入や書架改善など利用者視点の整備を行い、貸出数を回復させた。また、科学実験講座「しかラボ」では、実験を入り口に原理を説明するプログラムで他施設との差別化を図り、親子での継続参加につなげた。 地元企業による講演「つながるあだち人」では、図書館内での現物展示と当日のワークショップの体験要素を追加することで、地域住民の参加を得られ地元足立区の魅力を発信することが出来た。			
		【改善すべき点･課題等】 来館者数はトコジラミ発生の影響による減少前の3年間平均を2万人上回るまで回復した。一方、貸出数は同平均を791冊下回る水準まで戻したものの、来館者数ほどの回復には至っていない。今後は子育て世代の利用回復をさらに促進するため、体験型企画と居場所づくりを組み合わせた差別化を図り、新たな利用者層の獲得につなげる。			
	区記入欄	【特記事項】項目1について、面出しスペース拡充や分類表示の視認性向上により、親子が快適に過ごせる空間を創出し、ローテーブルとクッションをお話の部屋に設置することで利用者の要望を叶えた点を評価し、水準点に2点加点する。項目2について、図書館内での地元企業の紹介など地域に根ざした事業やぬいぐるみお泊り会等により、新規利用者の獲得に寄与している点を評価し、水準点に2点の加点とする。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】「しかラボ」や「ぬいぐるみのお泊り会」「新聞紙テント」といった体験型事業を通じて読書へのきっかけを作るとともに、子育て世代サポーターによる書架改善や読書バリアフリーなど独自性のある取り組みを行っている。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

			評価点		
D 利用の状況	**適切な利用状況となっているか （環境の変化など外部要因を考慮）**		指定管理者	担当課	評価委員
	1	学習施設・体育館等の利用状況が基準を達成している ◆利用率の基準値超 利用率基準値/学習施設53%、体育館88% ＜参考＞学習施設目標値　58.6%（前年度利用率＋3%）	3.0	3.0	8.0 （満点10点）
	2	図書館の利用者数及び貸出冊数が基準を達成している ◆利用者数・貸出冊数の基準値超 利用人数（118,047人）　※基準値/109,193人 貸出冊数（93,418冊）　※基準値/87,339冊	5.0	5.0	
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】 （センター）学習施設・体育館ともに利用率が増加した。子どもの居場所づくりの取り組みにより学習室の利用率が向上した。また、施設の利用方法をSNSで公開したところ、多くの反響があり、情報発信による周知効果を確認できた。 （図書館）図書館は、令和6年度末のトコジラミの発生の影響で上半期の来館と貸出数が激減した。しかし、センター連携の大型体験イベントや館内イベントを途切れなく実施した結果、来館者数は減少前の3年平均を2万人上回るまで増加させた。一方、貸出数も上半期時点で令和6年度より約7,000冊減少する大きな打撃を受けた。そこで、特に減少が顕著だった子育て世代の呼び戻しに注力。おはなし会参加者の座談会で出た声をもとに、「滞在を楽しむ空間」作りや、貸出の手軽さを重視した「ちょこっとパック」の導入など、利用者の声をもとにした書架の改善を行い、令和6年度よりも約1,600冊増加まで回復させることが出来た。			
		【改善すべき点･課題等】 （センター）登録団体の減少に伴い、レクホールおよび和室の利用率は低下した。全体の利用率は維持しているものの、１コマ当たりの利用者数は減少している。今後は利用枠に依存しないサービス提供として、子育て世代を対象とした空き室開放を予定している。 （図書館）図書館へのトコジラミによる影響は回復したが、来館者数の回復に比べ貸出数は緩やかな回復に留まった。今後は、滞在型利用の来館者に焦点を当て、館内での過ごし方が貸出行動へつながるような仕組みづくりを進める。			
	区記入欄	【特記事項】項目1について、今後は利用率が低下したレクホールや和室を活用した事業を企画し、利用率回復に努めることが期待される。項目2について、前年度減点であった貸出冊数は基準値変更の影響もあり基準値を満たした。また、利用者前年比増加率及び貸出冊数前年比増加率ともに加点基準を達成したため、2点の加点とする。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】利用率が低下したレクホールなどを活用した事業の企画など利用率回復に取り組んでいる。また図書館について、トコジラミによる休館の影響から利用状況を回復し、基準を達成した点を評価する。令和6年度減点であった貸出冊数の未達についても改善が見られた。 【改善すべき点】貸出冊数は過去3年平均には達しておらず、引き続き回復に向けた取り組みを期待したい。 【その他注意点】			

	E　3分野連携事業	**3分野連携事業を計画通り実施しているか**		評価点		
				指定管理者	担当課	評価委員
		1	3分野連携事業が適正に実施されている ◆「関心喚起」「行動生起」「習慣化」の３種のプログラムの実施 ◆動機づけのための情報発信（プッシュ型情報発信）をしているか　など	3.0	3.0	3.0 （満点5点）
		指定管理者記入欄	【アピールポイント】 トレーニングルーム利用者のセンター事業への参加促進を目的として、トレーニングルーム指導員による事業を実施した。好評であったため、令和8年度も継続実施する。平日朝に継続しているラジオ体操と組み合わせることで、開催回数を十分に確保でき、結果として参加者の拡大につながった。			
			【改善すべき点･課題等】 令和8年度は子育て世代を主要ターゲットとして事業を展開する。これまで幅広い層の参加を促すために間口を広げた事業に取り組んできたが、今後は利用者の定着と継続利用につながる事業を新たに実施する。			
		区記入欄	【特記事項】3分野連携事業をラジオ体操と組み合わせることで事業の拡大をしただけでなく、参加者数の増加も見られた点を評価する。			
		評価委員記入欄	【評価すべき点】3分野連携事業について、平日の朝に継続しているラジオ体操を利用した事業企画や、トレーニング指導員を講師に据えた事業開催などスポーツからカルチャーへつなぐ「ぷちカル」の創意工夫により参加者の増加が見られたことを評価する。 【改善すべき点】 【その他注意点】			
	F　主要事業の企画・実施・成果	**5カ年計画どおりに事業を実施し、計画通りの成果があったか（評価点×3）**		評価点×3		
				指定管理者	担当課	評価委員
		1	主要事業の実施 ◆アプローチ方法が効果的であるか			23.4 （満点30点）
		2	主要事業の成果 ◆当該年度の達成目標を達成しているか			
		指定管理者記入欄	【アピールポイント】 令和7年度は5カ年計画の最終年度として、防災フェアに向け複数の防災イベント「防災トーク＆クラフト」を実施した。防災フェアはサポーターが不参加となり、区民意見を基に企画を再構成した。関心の高かった「避難」をテーマに、避難所体験や防災食試食、防災グッズ展示などの啓発を行った。また、国土交通省の出前講座により地震・津波リスクへの理解を深める機会を提供した。			
			【改善すべき点･課題等】 防災、とくに避難に関する啓発には一定の成果が見られた一方で、区民主体での運営にはまだつながらなかった。令和8年度は個人だけでなく地域団体との連携をさらに深め、より区民が参加しやすく、協働しやすい体制づくりを進めていく。			
		区記入欄	【特記事項】防災イベントに力を入れ、5カ年計画の最終年として避難所体験などの区民が防災意識を高める取り組みを様々行った点を評価する。区民のボランティアに関しては、最終的に集めることができなかったため、令和8年度以降はボランティアを獲得し、地域との連携をさらに深めたイベントになるよう努めることを期待する。			
		評価委員記入欄	【評価すべき点】指定管理期間の最終年度として参加者の意見を反映しながら防災イベントを実施し、参加者の意識向上を促す事ができた取り組みを評価する。 【改善すべき点】防災意識の向上は見られるが区民主体の運営には至っておらず、地域団体との協働体制づくりが今後の課題と考える。 【その他注意点】			

G 利用者の満足度（評価点はアンケート調査による）	利用者の満足を得られているか（評価点×２）		評価点×2		
			指定管理者	担当課	評価委員
	1	運営満足度 ◆職員の接客態度、説明や事務処理の的確さ		4.3（×2）	33.4 （満点40点）
	2	施設維持満足度 ◆施設の清潔さ、使いやすさ、館内表示　など		4.7（×2）	
	3	事業満足度 ◆事業内容の充実、ミニコミ紙　など		4.1（×2）	
	4	利用効果 ◆センターでの活動効果、意欲の向上　など		3.6（×2）	
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】 当施設の窓口受付は、明るく開かれた雰囲気づくりを基本とし、来館者に対して必ず丁寧な挨拶を行うことで、安心して相談できる環境を提供している。また、利用者一人ひとりの状況に応じた細やかな配慮を行うことで、初めての方からリピーターまで、誰もが気持ちよく手続きできる窓口にしている。			
		【改善すべき点･課題等】 設備・備品のサービスにあたっては、利用状況を踏まえた潜在的ニーズを見越して、環境整備をより計画的に進める。また、一人ひとりの状況に応じた配慮を行いつつも、公共施設としての公平性・中立性・安全性を確保するため、対応基準の明確化を進める。			
	区記入欄	【特記事項】センター利用者から接客や施設環境に関して良い評価を得ており、要望に対する検討および改善を行っている点を評価する。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】接客・清潔さとも満足度が高く、特に図書館は満足の回答が8～9割に達している。苦情・要望に対しても誠実に対応しており、概ね良い評価を得ていると言える。 【改善すべき点】 【その他注意点】シャワー設備や除菌シートに関する意見が複数あるほか、図書館では閲覧席の利用マナーに関する声もあり、可能な範囲での対応を検討してほしい。			
合計点			104.0（満点130点）	132.4（満点=170点）	155.0（満点=200点）

特記事項（評価委員会による総合評価を記入）	5カ年計画の最終年度として防災をテーマに多様な事業が展開され、トコジラミによる休館の影響からの回復も見られる。また、ラジオ体操参加の拡大について多世代交流の好例として高く評価する。持続的なサポーター制度の構築に期待する。その他、やさしい日本語の案内や、子どもが図書に親しみを持つ契機になる「ぬいぐるみのお泊り会」など、多様な主体に寄り添った施設運営が施設全体で行われている。一方で、窓口対応での基本的なミスについては改善が求められる。

【評価委員会評価結果】

評価委員会評価結果	得点	評価	⇒	ﾗﾝｸﾀﾞｳﾝ	⇒	総合評価
	155	A-		有・無		A-

※評価結果は評価委員会が行う。
※小数点以下は切り捨て、整数とする。

【指定管理者への改善要望】
1-A項目1における減点事項について、初歩的な運用上のミスであり、利用者への影響も生じているため、受付事務の運用基準の周知と研修の徹底を求める。

<評価委員会評価基準>

評点		評価基準						
満点	標準点	75%以上			～			54%以下
		A＋	A	A－	B＋	B	B－	C
200点	120点	180点以上	167点以上 179点以下	150点以上 166点以下	134点以上 149点以下	119点以上 133点以下	109点以上 118点以下	108点以下
得点率		90%以上	～	83%以下	67%以上	～	59%以下	54%以下

※「標準点」･･･評価項目が全て「３」（水準クリア）の評価を受けた場合の得点。
※「A」は満点の0.75倍以上（小数点以下切上）、「C」は満点の0.54倍以下（小数点以下切捨）とする。